

ふうすいがい じしんとう たい とうげこうたいおう
風水害・地震等に対する登下校対応マニュアル

横浜市立善部小学校

令和4年4月版

	状 況	学校・家庭の対応	メール配信等
登 校 前	ア 朝6時 の段階で 「 暴風警報 」「 大雪警報 」 「 暴風雪警報 」「 特別警報 」 「 火山噴火降灰予報 」※解説2 が発表されている。	(自動的に) 市立学校一斉 臨時休校 ～横浜市学校防災計画による～ (放課後キッズ 臨時休校)	○メール等を待たず、まずは、 <u>警報にてご判断ください。</u> ※解説2 ○補足的に、メールを配信する場合があります。(基本的にはないものとお考えください。)
	イ 「 暴風・大雪・暴風雪・特別警報 」はないが、 強風・大雨・大雪 等で登校が危険とご家庭で判断。	(原則として) 通常授業 ○「危険」と判断した場合は、登校を見合わせてください。 ※解説1	
	ウ 大地震発生 横浜市域の一箇所でも 震度5強以上を観測 帰宅後、登校前の時間帯(放課後、休日、夜間等)に、震度5強以上の地震が発生した。	(原則として、自動的に) 当日と翌日は全市一斉 臨時休校 ○被害が少ないなど、学校が判断すれば、授業実施の場合あり。	○授業実施の場合、メール配信に努めます。
	エ 南海トラフ地震に関する臨時情報 「平常時と比べて相対的に発生するリスクが高まった」等の情報が発表された。(平成29年11月から、自動的に休校となる「警戒宣言」は出ないことになりました。)	○市教委から「全市臨時休校」の指示があれば休校。地域の災害危険性等から、中学校区で登校見合わせの判断をする場合があります。 ○全市臨時休校にならない場合は、原則として集団登校とせず、各ご家庭で登校の安全を判断及び確保し、登校させてください。 ○可能な保護者の皆様は、付き添いや要所に立つなど、登校の安全確保にご協力ください。	○メール配信に努めますが、不可能の場合もあります。 ○横浜市、学校の対応についてメール配信で確認するとともにご家庭で安全確保を図ってください。
	オ Jアラート(全国瞬時警報システム) で、 自然災害以外の警報(テロなど)が神奈川県を含んで発せられている。	○警報が出ている間、登校を見合わせ、建物内で安全を確保してください。 ○警報解除と判断したら、メール配信を行います。 ○各ご家庭で登校の安全を判断及び確保し、メール配信後に、登校を開始してください。 ○可能な保護者の皆様は、付き添いや要所に立つなど、登校の安全確保にご協力ください。	○学校は、原則休校にはしません。 ○メール配信等に努めますが、即時配信は困難です。 ○登校時間等はメール配信にて連絡します。
登 校 後	カ 登校後天候が悪化 「 暴風警報 」「 大雪警報 」 「 暴風雪警報 」「 特別警報 」 「 火山噴火降灰予報 」等発表。	(状況を総合的に判断し、メール配信等により) 預かり・引き渡し ○状況によっては、定刻、または、下校時刻を前後に変更して、 職員見守り体制での下校。	○状況を総合的に判断し、メール配信にて、対応を伝達するよう努めます。 ○対応の変更も逐次、伝達するよう努めます。
	キ 地震発生(震度5弱以下) 震度5強に達していないが、交通網の混乱、停電、火災発生などで児童を帰宅させることが危険と判断。	※下校後、放課後キッズに参加している児童は、放課後キッズにて学校と連携して留め置き引き取り。 ※職員見守り体制では、可能な保護者の皆様は、要所に立つ、出迎えるなどの支援をお願いいたします。	○災害時は、 配信メールの集中により、メール配信ができなくなる可能性もあります。学校ホームページにも情報を載せます。
	ク 南海トラフ地震に関する「臨時情報」 が発表された。	○通常の下校時間帯に 天候等が回復すれば、通常下校 とする場合があります。	○災害の状況においては、メール配信と同内容の電話連絡は不可能ですので、予めご了承下さい。
	ケ Jアラート(全国瞬時警報システム) で神奈川県にも、 自然災害以外の(テロなど)の警報が続く。		
コ 大地震発生 横浜市域の一箇所でも 震度5強以上 の地震を観測した。	(自動的に) 預かり・引き渡し	○メール配信で情報発信に努めます。 ○遠方においての保護者様は、児童は学校で安全に過ごしていると考え、まず、身の安全を図ってください。	

※解説1 悪天候で、ご家庭が判断して休む場合、非常変災による出席停止とします。欠席連絡してください。(電話可)

※解説2 「警報」は、地上波デジタル放送の「データ連動画面」や「防災・気象サイト」から確認し、ご判断ください。

※メール配信未加入の方へは電話連絡を試みますが、不可能な場合も多いことをご承知おきください。

※解説3 残留児童の安全確保と指導を優先しますので、「第一報連絡」以後のメール配信内容の変更を、電話にて逐次連絡していくことは困難です。あらかじめメール配信に加入している方から連絡を受けられるようにしてください。

※解説4 震災時の行動は、「学校宿泊」も視野に、各ご家庭の「家庭防災マニュアル」で想定してください。

「警報」を知る方法

便利でわかりやすい「警報」の見方

＝地上波デジタルテレビの「dデータ連動」放送を使う

テレビ（NHK地上波デジタル等）で、データ放送から横浜地域の「警報」をリアルタイムで確認することができます。



テレビリモコンの「dデータ」ボタンを押す→「防災・災害情報」などで、「警報注意報」に進むと、現在横浜地域に出ている「警報」を見ることができます。

その他の「警報」を知る方法 「横浜市学校防災計画」より

1 横浜市危機管理室ホームページ「横浜市の気象情報」

(1) インターネットに接続し、横浜市ホームページ (<http://www.city.yokohama.lg.jp/>) の右側にある、「防災」をクリックし、次の画面の左側にある「横浜市の気象情報」をクリックしてください。

(2) 表示された画面の右上「一般気象情報」をクリックすると、その左側にメニューが表示されます。その中の「警報注意報」をクリックすると、次の画面で、神奈川県内の各地方の警報・注意報発表状況が表示されます。「横浜・川崎」の項で、「警報」の欄に「●」が表示されている場合は、該当の警報が横浜・川崎に発表継続中であることを示します。

※ 上記・横浜市一般気象情報「警報注意報情報」のページへは、横浜市教育委員会ホームページのトップページ (<http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/>) から直接アクセスできます。

2 横浜市水防災情報ホームページ（携帯電話版）

(1) 携帯電話（パソコンも可）でインターネットに接続し、次のURLを入力してください。 <http://www.bousai-mail.jp/yokohama/>

(2) 表示された画面で、「3 気象警報・注意報」を選択すると、横浜・川崎に対し、直近の時刻に発表された情報が表示されます。

(3) さらに、「現在の注意報・警報へ」を選択すると、その時点での、横浜・川崎に対する警報・注意報発表状況が確認できます。

3 横浜市「防災情報Eメール」配信

上記2「横浜市水防災情報」の内容は、あらかじめメールアドレスを登録すれば、Eメールで受信することができます。配信される情報の種類は、任意に設定可能です。

登録を希望する場合は、携帯電話（パソコンも可）で、上記2の「横浜市水防災情報」ホームページから手続きをしてください。

○ テレビのニュース番組等の「気象情報コーナー」等で、各地の警報発表状況が放送された場合に確認できます。ただし、休校判断時刻前後に放送されるには限らないことに留意の必要があります。

○ NTTの「177」では、電話をかけた時点で警報等が発表継続中であれば、冒頭で放送されます。ただし、利用が集中した場合、つながりにくくなる場合があります。